

## 過去の南海トラフ地震とその記録

震 災	月 日	状 況
白鳳地震	684年11月29日	物の破壊、人畜の死傷多く、土佐の田畑12平方キロメートルが海となる。津波あり。 ※南海・東南海・東海3連動型とされる
仁和地震	887年8月26日	五畿七道大いに震う。近海津波来襲し、死傷者多し。
康和地震	1099年2月16日	記述等なし。痕跡あり。
正平地震	1361年8月3日	津波被害甚大。香美郡田村(南国市)の下庄正奥寺に高潮上がる。
慶長地震	1605年2月3日	地震い大津波あり。死者5000人に上り、崎の浜、甲浦、阿波宍喰で浸死者続出。 ※南海・東南海・東海3連動型
宝永地震	1707年10月28日	有史時代最大の地震の潰家29000、死4900。津波は土佐にて20m余り。海辺の在家一所として残る方なし。高知では潮江、下知、江ノ口より、一宮、布師田、大津、介良、下田衣笠まで海となる。 ※南海・東南海・東海3連動型
安政南海地震	1854年12月24日	地震、大津波で被害甚し。土佐、紀伊、阿波などで死者3000。土佐湾沿いの赤岡以西はすべて被害被る。 ※南海単独 前日に東南海東海地震有
昭和南海地震	1946年12月21日	震害は四国、九州、近畿、中国、中部地方に及び、大津波来襲して全国で1330人の死者が出た。高知は震度5で午前4時19分に発震、地震後6波の津波あり。県下の死者670、不明9、傷者1836、家倒壊4834。 ※南海単独



東日本大震災から7年が過ぎました。そう遠くない未来に起こることが予想されている南海トラフ地震について、今一度、その歴史を確認してみましょう。

上記のとおり、南海トラフ地震は過去に何度も起きていた災害です。多少の幅はありますが100〜150年周期で起きるとされています。また、記述からわかる限りでは、津波が来襲し、被害も出ています。

過去の経験を活かし、同じような被害を受けないために準備を行うとともに、地震災害を防ぐことはできませんが、被害を減らす「減災」に努めることが大切です。

黒潮町では、今年度も木造住宅耐震にかかる補助事業、家具転倒防止対策および危険なブロック塀撤去などにかかる補助事業、避難道や避難場所の整備、地区防災計画および避難所運営マニュアルなどの作成支援、自主防災組織への資機材整備補助事業など、関係機関と連携し、さまざまな対策を継続していきます。

## 防火・防災標語の受賞

黒潮消防署では、町内の小学校4〜6年生を対象に「防火防災標語」を募集し、今回は216通の作品が寄せられました。

3月7日(水)に表彰式が行われ、第24回の最優秀作品は、田ノ口小学校6年生・田邊ころさんの「助け合いみんなでつくる地域の輪」に決定しました。

この防火防災標語は、黒潮消防署前に1年間掲げ、防火・防災の啓発に活用していきます。



「助け合い みんなでつくる地域の輪」



最優秀賞を受賞した田邊ころさん

お問い合わせ

【本庁】情報防災課 消防防災係

☎ 43-2188

【佐賀支所】地域住民課 総合窓口第1係

☎ 55-3113